

分野 看護管理学、看護教育学、看護マネジメント

研究テーマ 看護管理、人材育成

キーワード 看護マネジメント、看護組織、現任教育、
卒後教育、医療安全、医療業務分析

所属学会等

特記事項



URL : <http://er.nisikyu-u.ac.jp/>

【 EPA看護師の国家試験合格率向上を目的とした 日・尼連携による教育プログラムの研究 】

< 研究の背景 >

本研究では、EPA看護師の国家試験合格率の向上を目的に、EPA看護師候補生向け教育手法を研究する(図1)。

主に、訪日前教育プログラムの構築を行う。訪日前教育プログラムにはEPA看護師候補生による自主学習を行う知識・技術学習コース(5コース)と、日本の大学教員による対面演習としての演習コース(4コース)を計画している。

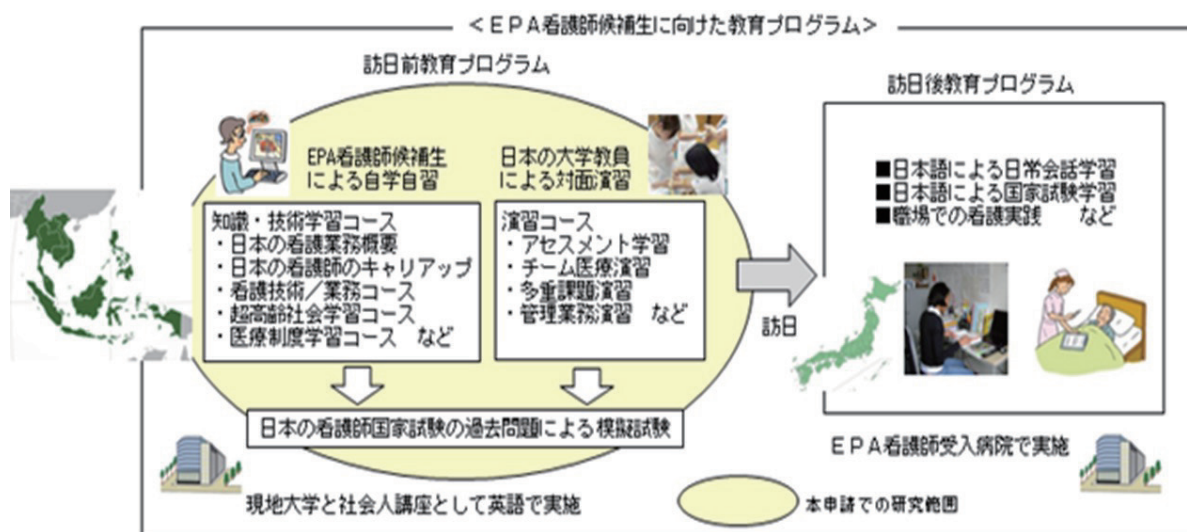


図1 EPA看護師候補生向け教育プログラム

< 研究目的 > これまでの看護教育カリキュラムの比較研究を発展させ、EPA看護師が習得すべき知識・技術の相違を抽出し、これらを習得できるeラーニングによる教育プログラムを開発し、EPA看護師候補生向け教育手法を研究することを目的とする。

< 方法 >

1. 日本とインドネシアの教育カリキュラムの相違による知識の習得状況の分析
2. eラーニングを利用したコース学習環境の確立
3. 模擬試験の実施

< 結果 >

1. 日本とインドネシアの教育カリキュラムの相違による知識の習得状況の分析
 - 1) 日本とインドネシアの看護教育カリキュラムの分析
文献よりインドネシアの看護教育カリキュラムは、「一般教育」「健康科学教育」「看護学」で構成されており、日本の「基礎分野」「専門基礎分野」「専門分野」と大きな違いはないが、看護学を比較すると、インドネシアのカリキュラムでは、老年看護学の単位数が日本の1/4であること、在宅看護論の科目が存在しないことが相違であった。
さらに、インドネシアでの元EPA看護師候補生の方のインタビューより、「高齢者がベッドの上に寝ていて、食事介助やオムツ交換は日本で初めて経験した」「家で看護師が患者にケアをするのはイメージもつかなかった」など高齢者看護に関する学習内容及び在宅での看護のイメージもないことなどの違いも明確となった。
 - 2) 看護師国家試験の構造の分析結果：看護師国家試験に合格するためには、日本とインドネシアの看護基礎教育カリキュラムの相違のことも考慮して「老年看護学」と「在宅看護論」の知識の習得が必要であると考え、2科目を強化することとした。
2. 事前評価の模擬試験の実施：本研究への協力者9名（EPA看護師候補生7名、元EPA看護師候補生2名）に模擬試験を実施した。「老年看護学」の正解率は42.4%、「在宅看護論」の正解率は38.5%であった。
3. eラーニングを利用したコース学習環境の確立
eラーニングコンテンツの作成：事前評価の結果より、eラーニングコンテンツとして、「老年看護学」及び「在宅看護論」について、本研究の代表者と共同研究者が所属する大学で利用している教科書や演習問題を参考に教科書編、問題・解説編を作成した。

【 高校生のみなさんへ メッセージ 】

西九州大学看護学部看護学科では、「心に寄り添いチームで支えたい」をモットーに人に対する思いやりを持ち、対象となる人々が、その人らしく地域で生きることを支えるために必要な倫理観、科学的に裏付けされた専門知識と判断力を身につけ、関連職種と連携しながら、人々の生活を支援できる人の育成を目指しています。

学びのポイントは、「主体的・自立的能力」「ICTの推進とシミュレーション教育」「個別支援制度」「包括ケアシステム」「地域の理解と地域貢献」を取り入れています。看護学に興味のある方は、オープンキャンパスなどにご参加ください。お待ちしております。

西九州大学看護学部の情報は下記のURLをご参照ください。

<https://www.nisikyu-u.ac.jp/faculty/nursing/>

